

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道474号三遠南信自動車道 三遠道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局								
起終点	自：愛知県北設楽郡東栄町三輪 至：静岡県引佐郡引佐町東黒田		延長	21.0km										
事業概要 三遠道路は、広域的な交流促進、三遠南信地域の連携強化さらには高速道路網の信頼性向上等を目的として計画された三遠南信自動車道のうち、奥三河と遠州を連絡する区間に位置する延長21.0kmの道路である。														
H5年度事業化		H1年度都市計画決定 (H1年度変更)		H13年度用地着手		H15年度工事着手								
全体事業費		950億円		事業進捗率		4%								
計画交通量		10,400台/日		供用済延長		—km								
費用対効果分析結果	B/C	総費用：(残事業)/事業全体 852/907億円		総便益：(残事業)/事業全体 1,768 / 1,768億円		基準年： 平成15年								
	(事業全体) 1.9 (残事業) 2.1	事業費：760/815億円 維持管理費：92/92億円		走行時間短縮便益：1581/1581億円 走行費用減少便益：141/141億円 交通事故減少便益：46/46億円										
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（新幹線浜松駅及び第三種静岡空港へのアクセス向上が見込まれる） ・安全で安心できるくらしの確保：（三次医療施設聖隷三方原病院へのアクセスが見込まれる） 他6項目に該当														
関係する地方公共団体等の意見 国道474号の三遠道路は、広域的な交流促進、地域の連携強化等に重要な役割を果たすことが期待されており、浜松市をはじめとする関係8市42町村の首長で構成される三遠南信道路建設促進同盟会より早期整備の要望（平成15年6月20日）を受けている。														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 地域の過疎化及び高齢化がさらに進展、産業の低迷下が進み三遠南信自動車道への期待が高まる。														
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成13年度より用地買収に着手し、平成15年度より工事に着手。														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成15年度より三遠トンネル関連の工事を進めており、平成19年度部分供用、平成20年代半ばに全線供用予定。														
施設の構造や工法の変更等 線形の見直しによるトンネル・橋梁の延長短縮、及びIC構造をトランペット型からダイヤモンド型に変更するなどコスト縮減を図っている。														
対応方針		事業継続												
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。														
事業概要図														
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—————</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>■■■■■</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td>▨▨▨▨</td> <td>再評価箇所</td> </tr> </tbody> </table>							凡	例	—————	供用中	■■■■■	事業中	▨▨▨▨	再評価箇所
凡	例													
—————	供用中													
■■■■■	事業中													
▨▨▨▨	再評価箇所													

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。